

小児インフルエンザ予防接種を受ける前にお読みください

予防接種の効果や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることやわからないことがあれば、医師に質問し、十分に理解してから接種を受けてください。予診票は、医師が予防接種の可否を決める大切な情報であるため、正しく記入してください。

インフルエンザとは

インフルエンザは、感染を受けてから1～3日後に、高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛等が突然あらわれ、咳、鼻水等の風邪と同じような症状もあらわれます。お子さまではまれに急性脳症を、高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

インフルエンザワクチンと制度の概要

小児対象のインフルエンザワクチンにはインフルエンザ HA ワクチン（注射不活化ワクチン）、経鼻弱毒生インフルエンザワクチン（経鼻生ワクチン）の2種類があり、いずれのワクチンも、インフルエンザの発病や重症化を予防する効果があります。ただし、ワクチンによって対象年齢や接種回数、接種方法、接種スケジュール、接種条件等が異なるため、どちらのワクチンを接種するかは医師とよく相談し決めてください。

	インフルエンザ HA ワクチン	経鼻弱毒生インフルエンザワクチン
ワクチンの種類	注射不活化ワクチン	経鼻生ワクチン
補助対象年齢	生後6か月～12歳	2歳～12歳
接種回数・方法	2回（皮下に注射）	1回（鼻腔内に噴霧）
接種スケジュール	通常、2～4週間の間隔をおいて2回注射。	—
注意事項	—	重度の免疫不全者が近くにいる方は、くしゃみや鼻水などを通じて感染させる可能性があるため、接種後1～2週間は接触を避けましょう。
補助額・補助回数	1人1回限り2,000円 （接種日時点で18歳未満のこどもが2人以上いる世帯は2回目も補助）	1人1回限り2,000円

予防接種を受けることができない方

- ①接種当日、明らかに発熱のある方（一般的に、37.5℃以上の場合）
- ②重篤な急性疾患にかかっている方
- ③予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシー（※）を起こしたことが明らかな方
- ④インフルエンザの予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がでたことがある方
- ⑤その他、医師が予防接種を行うことが不適当と判断した方

（※）アナフィラキシーは、じんま疹等の皮膚症状、腹痛や嘔吐等の消化器症状、息苦しさ等の呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合を、アナフィラキシーショックと呼びます。

接種を受けるときに注意を要する方

- ①心臓、腎臓、肝臓、血液疾患、発育障害等の基礎疾患がある方
- ②予防接種で接種後2日以内に発熱した方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がでたことがある方
- ③過去にけいれんの既往のある方
- ④過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ⑤（注射不活化ワクチン）間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器疾患がある方
（経鼻生ワクチン）重度の喘息の人や喘鳴のある人
- ⑥ワクチンの成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーを起こすおそれのある方
- ⑦（経鼻生ワクチン）ゼラチン含有製剤又はゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管性浮腫等）等の過敏症の既往のある者

インフルエンザワクチンの副反応

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

インフルエンザ HA ワクチン

接種後約 10 ～ 20%の方に接種部位の発赤、腫れ、痛みなどが起こります。全身性の反応としては、5 ～ 10%の方に発熱、頭痛、寒気、倦怠感等がみられます。いずれも通常2 ～ 3日で消失します。

重い副反応としては、稀ではありますが、ショック、アナフィラキシー、その他、ギラン・バレー症候群、急性脳症、急性散在性脳脊髄炎、けいれんなどが報告されています。

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン

接種後約 60%の方に鼻水や鼻づまりが現れます。のどの痛みや咳、頭痛などがみられることもあります。全身性の反応としては、1 ～ 10%の方に発熱・下痢・腹痛・疲労などがみられることがあります。いずれも通常は2 ～ 3日で軽快します。重い副反応としては、稀ではありますが、ショック、アナフィラキシー、蕁麻疹、呼吸困難などがみられることもあります。

他の予防接種を受けている場合の接種間隔

経鼻弱毒生ワクチンも含めて、インフルエンザワクチンと他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。そのため、前のワクチン接種からの間隔にかかわらず接種をすることができます。

接種後の注意事項

- ①接種後24時間は副反応の出現に注意してください。（特に接種後30分以内）
- ②接種後は、接種部位を清潔に保ちましょう。接種当日は過激な運動は控えましょう。
- ③接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
- ④接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないようにしましょう。

医薬品副作用被害救済制度について

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）では、病院・診療所で投薬された医薬品、薬局などで購入した医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による入院が必要な程度の疾病や障害などの健康被害について救済給付が行われています。

詳しくはホームページをご覧ください。



① 詳しくは、市ホームページでご確認ください。

神戸市 小児インフルエンザ 予防接種 | Q

神戸市お問い合わせセンター

年中無休 8:00 ～ 21:00 0570-083-330 または 078-333-3330 **FAX** 078-333-3314